

第5回 正月の病院はなぜ混むか？

ささお健康づくり

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ年も変わり、寒さも厳しくなってきました。冬は乾燥し、インフルエンザなどの病原体が活発に動き回ります。

また、生牡蠣によるノロウイルスの流行も見られます。

食べ物には十分に気をつけ、外出する時にはマスクをつけましょう。

さて、正月に風邪をひいて総合病院へ行くと、患者さんで溢れかえっていることがあります。

それはどうしてでしょうか？

もちろん上記したような病気が流行りやすいのも原因ですが、この時期は開業医さんもみんなお休み。だから、一つの総合病院に患者さんが集まってきやすいんです。それに加えて、大きな病院でも、いつも通りの診療ができるわけではありません。病院は365日開いていますが、さすがにこの時期は医師も正月返上で病院に来ている当直一人だけ、看護師も少ない人数で対応します。



ですから、どうしても人手不足になります。

もちろん体調が悪い時には病院へ行って頂いた方が良いのですが、もし待ち時間がいつもより長くなってしまっても、気長に待って下さいね。同時に、まずは病気にならないよう、なるべく生牡蠣などは控えて頂いた方が良いでしょう。

東京都立広尾病院 医師 良雪 雅(りょうせつ まさし)

新しい年を迎え、みなさんどのようにお過ごしですか？

本年も、生涯学習について、少しずつ御紹介していきます。

生涯学習とまちづくりその⑤

今回は、私の父の場合です。

数年前に40年ほど勤めた会社を定年退職した父。

平日は会社、休日は孫が読書たまにゴルフといった生活を終え、退職後のあり過ぎる時間をどう過ごしていくのか、退屈すぎて体を壊すのではないかと、家族で心配していたところ、突然、短歌を習い始めました。(なぜ短歌だったのかはいまだによくわかりません)

季語やルールについて改めて学ぶ楽しさはもちろん、自分の作品を他人に採点されることが新鮮なようで、楽しんでます。“趣味・教養を深める”ための学習を行うことで、毎日をより楽しく豊かにしていると言えます。

これまでは生涯学習というと、私の父の場合のように、“趣味・教養を深めるためのもの”“生きがいをもつためのもの”と考えられがちでした。

しかし、最近では、個人の趣味や生きがいに止まらず、生涯学習で“社会を変える”、“社会を良くする”というダイナミックな発想が広がっています。(続く) (おざわまき)

SASAO in the world

- Lesson 4 -

Happy New Year! みなさま、新年はいかがお過ごしでしょうか？この前の12月25日、ささお村の地域では

ホワイトクリスマスだったそうですね。悔しいことに甲府方面ではその気配など全くありませんでした…。

星空に雪に、寒い冬こそささお村に遊びに行くべきなのですね。

今回もささお村の魅力の紹介に関する英語を学んでいきます！ Are you ready ?

●It have snowed in this area on Christmas Day. It was amazing.

(イットウ ハヴ スノウドゥ イン デイス エリア オン クリスマス デイ. イットウ ワズ アメイジング)

=このクリスマスには雪が降ったんだ。それは素敵だったよ。

●The winter is the just season you should visit Sasao-mura !

(ザ ウィンター イズ ザ ジャスト シーズン ユー ショウドゥ ヴィジットゥ ササオムラ) =冬にこそささお村に来るべきだよ！

※English 豆知識

“White Christmas”は日本では「雪の降ったクリスマス」という意味で通りますが、

本来英語では「雪の積もったクリスマス」という意味で用いられる表現。

Next to see...

(written by Keina)